

「男女共同参画社会」って…?

「男女共同参画社会」とは何でしょうか。

男女共同参画社会基本法には、「男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる」社会と記されています。

つまり、個性と多様性を尊重する社会、性別に関係なく自分らしくいられる社会ということです。

「男女共同参画」はなぜ必要?

「男だからこうすべき」「女だからこうあるべき」といった、性別による無意識の思い込み(固定的な性別役割分担意識)や、それに基づく社会慣習などが依然として根強く残っているのが現状です。

そこで、男女共同参画を進めることによって、性別に関わりなく、すべての人が自らの意志に基づいた生き方を選択でき、安心して豊かに暮らすことができる社会を創り上げていくことが必要です。

そして、男女共同参画社会の実現への取組は、「男女」ととどまらず、年齢も、国籍も、性的指向・性自認に関することなども含め、幅広く多様な人々が互いに認め合う社会の実現につながるものと言えます。

だからこそ、「男女共同参画」が必要なのです。